

【附属機関名称】会議概要

会 議 名	多文化共生推進会議
事 務 局	地域調整課多文化共生担当
開催年月日	平成30年9月4日(火)
開催時間	13時30分～15時
開催場所	本庁舎12F 1204会議室
出席者	華委員長、宮崎副委員長（日本語ボランティア）、 坂本委員（日本語ボランティア）、池田委員（フィリピン出身）、 柳委員（中国出身）、劉委員（日本語適応指導講師中国語）、 加藤委員（町会自治会連合会副会長）、小林委員（小中学校校長会）、 岡野委員（東京都行政書士会） 事務局 秋生地域のちから推進部長、久米地域のちから推進部参事、 多文化共生担当係長、多文化共生係員2名、英語相談員、中国語相談員、 韓国語相談員
欠席者	2名
会議次第	別紙のとおり
資料	2018年度（平成30年度）第1回足立区多文化共生推進会議 次第 はじめての町会自治会（加入促進リーフレット）
その他	

様式第2号（第3条関係）

（審議経過）

久米参事

今日の冒頭の司会をさせていただく地域調整課の久米でございます。よろしくお願いいたします。議事に入るまで司会をつとめさせていただきます。そのあと委員長に司会を移りたいと思います。まず、主催者を代表して地域のちから推進部秋生部長から挨拶がございますので、よろしくお願いいたします。

秋生部長

地域のちから推進部長の秋生と申します。

3月までは子どもの貧困対策を担当しており、もしかしたらどこかでお会いしている方がいらっしゃるかもしれません。内閣府でのこども貧困対策の未来応援基金の去年の審査会のときに、貧困対策の一環としてというだけではないですが、外国人のこどもたちに学習支援をするという申請があがりました。審査会の中ではなかなか採択は難しいという話がありましたが、文科省の方からは是非採択をしてくれというお話もあり、採択にいたりましたが、文科省には「文科省のほうで学習支援の施策をすすめる気があるなら、きちんと予算をつけてほしい」と伝えました。企業の方たちとも、ここで話しているとやはり外国人労働者の入国の動きの中で、大人についてもこどもについても日本語の教育あるいは日本文化というものについて、これから少しきちんとやっていかないと、企業側もそういうことを意識していかないと、企業側もそういう話を企業側から出しました。そういう時代の流れもあり、うちの区内でもNPOが子ども向けの居場所作りみたいなものを始めたいと話がありました。前に1回西側で小泉内閣の緊急雇用でやったことがある法人が事業を立ち上げたいという話がでていた。その法人とは古くからつきあいがあり、福生の方に本部があります。福生で同じようなことを始めたので、

先日、見学に行かせていただきました。そこでは、例えば、このような部屋でいくつかに分かれて、南側が沖縄で一番北側が札幌にコーナーが分かれていました。それは日本の地理的について、ほとんど意識ができてないので、部屋の中で地理的感覚を意識付けしていくためです。沖縄、京都、大阪だとか、コーナーを設けて順番に北から南に並んでみるなどやってらっしゃいました。そういうことを足立区でも必要な子がいるのではないかと。来月から足立区でやってみたいというお話をいただいています。そのような子どもについて、うちの区の中でも少し考えていかなければいけないところに来ていると思います。今日はお集まりいただき、足立区の多文化共生推進計画の施策と実施状況をとりまとめたので、それをご覧いただきながらみなさんの意見を伺えればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

では、これより平成30年度の新委員の委嘱をさせていただきますと思います。委嘱状は秋生部長から席に伺ってお渡しします。お名前を読み上げましたら、ご起立いただき委嘱状を受け取り、ご着席ください。よろしくお願いいたします。では、委員長のほうから順番にお呼びします。（委嘱状 交付）

ここから委員長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

華委員長

今日の議事に入る前に、新しい方も入られたので、自己紹介をしたいと思います。名簿では13名とありまして2名が欠員となりますけれど名簿順に簡単に自己紹介をいたします。まずは私から。私は生まれは中国ですが足立区に住んで25年経ちます。より住みやすくより便利になったという感じがします。足立区には大学が今5つある。この多文化共生も

十数年くらいやってきまして足立区としても
ほぼ改善しつつあるという感じを受けました
ので、これからも皆さんの力で、あわせて、
益々住みやすいよりいい街を目指して頑張っ
てまいりたいと思います。

宮崎副委員長

宮崎と申します。私は足立生まれの足立育ち。
今も足立区に住んでいます。足立区との深い
関わりは日本語ボランティアとして、グルー
プあだちという日本語教室でボランティアを
やっております。活動場所は北千住にありま
して、総合ボランティアセンターを会場にし
て毎週水曜日夜行っているのですが、もう設
立してから15年くらいになります。一時は
学習者も減り、ボランティアも減った時期が
ありましたけれども、最近は両者合わせて30
人を越えるという盛況です。それはボランテ
ィアたちがとても熱心な人たちが揃ってい
るということもありますが、交通が便利って
いうのが大きい。それから若い学習者たちが
多くてその学習者の方々の熱心さにボランテ
ィアたちがかえって励まされるというような
場面がしばしばありまして、私もその中にお
ります。自分たちが鼓舞されるというか、力
をつけられるっていう体験で、大変貴重な場
だと思っています。外国の人たちが「とても
日本はいい」って言うてくださるんですけれ
ど、それに甘えてはいけない。あえて何も言
わない部分もあるのかもしれないと思い、そ
れこそ地域で共生するっていうことができる
ようになりたいなと思っております。ありが
とうございます。

坂本委員

坂本と申します。宮崎さんと同じ様に日本語
ボランティア教室で外国人の方の日本語教育
をお手伝いしております。私も宮崎さんと同
じ様に足立区には6歳の時から、ずっと足立
区に住んでおります。非常に足立愛が強い人

間です。江北にいた頃よく荒川が決壊しまし
て、あの辺り水浸しになっていたんですよ。
そういった思い出が非常に強く残っておりま
して。今回江東5区のほうのゼロメートル地
帯、250万人くらいが避難、被災をするとい
うシンポジウムみたいな、説明会みたいなもの
が2Fの会議室でなされるというので、早速
私も聞きたいなと思ひまして申し込みまし
た。確か、舎人地区はそんなに被害はないだ
ろうと思っていますけど。どちらかという
と荒川の南側ですね。ですから北千住方面は
ほとんど水浸しだそうなんですっていう情
報が広域避難図の中には載っておりました。
ボランティアについていいですよと、いつも
月曜の午前中にエルソフィアで10時から
12時までやっています。昨日新しいボラン
ティアの方が、40代の方が入ってきました。
というのも、私どもは、平均年齢70代
なんです。60、70、80、90までい
るんですよ。そういった中で50代がい
なくて急に40代の方が。これは、多文化
共生さんの方で6月から7月の末までボ
ランティア教育っていう形でやられて日
本語ボランティア支援講座を受けた方が
たまたま私どものほうに来ましてアット
ホームな雰囲気がいいですね、入ります
ってことに。40代の女性です。これは
大事にしていきたいと。今から楽し
みにしております。そういった形で、
ボランティアの日本語教室のほうも
楽しくやっております。みなさん、
外国の方の日本語教育少しでも手
助けができたらと思っております。
以上です。よろしくお願ひします。

池田委員

私、日本に来てもう40年過ぎてます。足立区
住んでからもう20年くらいです。子どもが
できて、小学校へ行って、それから私
気がついてたんです。何かできることを
やりたいと思って。とにかくボラン
ティアに入る。気持ちはいっぱい
です。何ができるかわかりません。

よろしくをお願いします。

柳委員

柳です。いつもみなさんにお世話になっております。私も足立区には21年間です。そして多文化共生にもお世話になりまして、多文化共生とつながっています。今は厚生労働省のホットラインの仕事をしています。最近の電話相談でみると中国人相談よりベトナムの相談とか多くなってきてまして。ベトナムの方の問題が結構大きくなってきてきました。この問題は難しい。中国人とかフィリピン人とかの問題と同じ問題が今発生しているのは、ベトナム人、ネパール人が多いですね。それ以外に私、今、四中夜間に週1,2回通訳とか相談役をしていますが、年々生徒は少なくなってきてまして、昔は四中夜間は大体100人以上いらっしゃいました。最近結構少なくなって、昨日入学式で中国人3人しか入ってなくて。昔毎回入学式中国人10何人もいました。宣伝ですが、中国人が来たら是非来てください。外国の先輩として、お手伝いすることあればがんばりたいと思います。よろしくをお願いします。

劉委員

劉と申します。私は今、公立の小学校で日本語適応指導講師として、また、区役所の通訳としてお手伝いさせていただいています。日本に来て10年になりました。足立区に住んで8年になります。本当に日本が大好きで、日本に来てからいろいろな方からお世話になりました。すごく感謝の気持ちがいっぱいなので何かできることがあれば是非。これからもいろいろボランティアをがんばりたいと思います。よろしくをお願いします。

加藤委員

加藤でございます。生まれも育ちも足立区で、足立区から出ていない。父親が町会長をさせていただきました関係で、それを手伝うとい

うか、地域のいろんな行事に係わらせていただきました。平成7年の阪神淡路大震災のときにですね、町会長を務めさせていただきまして、今日まで23年間勤めさせていただいております。町会の加入率をご存知のとおりだんだん減少してきておりまして町会自体も変わっていかないといけないのかなど。資料にも書いてありますが足立区の人口の規模は外国人の方は4.5%今占めるようになってまいりまして。2020年東京オリンピックがありますが、かなり外国人の方が増えてきて、足立区にもくるのではないかと思っています。そうした上でですね、外国人の方に長く住んでいただくためにもですね。また、楽しく有意義に生活していただくためにも町会に是非入っていただきたい。そのためには町会・自治会も何をしていかなくちゃいけないのかですね。こうした外国の方々と文化、あるいはこういったものを共用していくにはどうしたらいいのか。また、行事的にはどのようなものやっていたらいいのか、そういったものをいろいろご意見を伺いながらですね、取り入れていって町会・自治会を運営していきたいな、学ばせていただきたいな、学んでいきたいなとお願いして今回この委員をお引き受けした次第でございます。どうかよろしくをお願いします。

小林委員

小学校中学校の校長会の担当、ということで参りました竹の塚小学校校長小林と申します。私の勤めている竹の塚小学校はスカイツリーライン竹ノ塚駅から8分くらいで周りは戸建てや団地があつて静かなところだと思っています。私は3年目で、児童は330人位いますが、やはり多文化共生ということでは中国が一番多いですね。中国から来ました、フィリピンから来ましたというお子さんがいます。そういう子たち、日本でもともと住んでいる

子たちが仲よくはもちろんできますが言葉の壁文化の壁といったところは子ども同士なので、慣れていけばすぐ打ち解けられるですが、それまでの間はやはり課題なのかなと。劉先生のような日本語適応指導の先生に来ていただき、授業をしていただいているところですけども、早く子どもたちが楽しく学校生活送れるように、また保護者の方が安心して日本で生活できるようになればいいなと思っています。私は校長としての立場として、どんなお役に立てるかわかりませんがよろしく願います。

岡野委員

東京都行政書士会足立支部の岡野と申します。よろしく願います。行政書士会足立支部と足立区役所との関係というか、まず多文化共生との係わり合いは年2回夜間にエルソフィアで外国人の方向けの無料相談会というものをやっております。来週もあります。それとあだち国際まつりで外国人の方向けの相談会、無料相談会ですが、そこに相談員として派遣されています。また、北館3階区民の声相談課というのが、これは区民の方向けの相談窓口ですがそちらにも行政書士会足立支部として相談員を2名毎日派遣していますけども当然外国の方の相談は在留資格についてだったり、永住権をとりたかったり、日本国籍をとりたかったりという相談が圧倒的に多いです。その他は、日々の生活に関する相談ですとかお隣の人とトラブルがあったりですとか、仕事の問題で急に仕事を辞めさせられたとか仕事に怪我をしたけれども何も補償してくれないという相談が多いですね。区民の声の相談としては同じような内容の相談が日本人・外国の方関わらず相談に来られることが多いですね。ですから相談っていうのは国籍関係なくやっぱり同じようなことで悩んだりする方が相談に来るっていうのは全く変

わらないです。外国の方もやはり随分日本に溶け込んで暮らしていらっしゃるのかなという風に感じています。ちょっと違うのは日本の方は相談に来て、最後に「話を聞いてくれてありがとう」って、話して満足して帰る方は半数近くいらっしゃる。その割合っていうのは外国の方はほとんど少ない。本当に解決を求める方がほとんどですね。日本の方と外国の温度差がそこで違ってくるのかなと。少しでもお手伝いできるよう相談員として手伝いをしていきます。よろしく願います。

華委員長

ありがとうございました。それでは本日の議事に入りますけれども、次第に従って進めますが時間としては3時をめぐりにしていただきたいと思います。それでは議事についてご説明をお願いします。

事務局

昨年度から大きく変わりました多文化共生推進計画の施策の表について説明をさせていただきたいと思います。昨年度までと違いました。一覧としてかなり見やすくしました。基本施策について順番にいききたいと思います。継続している施策については昨年度の実績を載せている形になりまして、新規と書いてある施策が新たに昨年から始まった施策になります。生活情報の提供に関するページでは、紙媒体に多言語化された情報を載せていただきました。担当課が一番右端にございまして、記載されている部署で多言語化を進めているもの、または、各所管より多文化共生係で翻訳依頼を受けて英語、中国語、韓国語の三言語に翻訳しているものがございます。先ほど岡野先生からのお話があった区民の声相談課の区民相談パンフレットにつきましても三言語によってご案内をしております。新規事業は、家庭的保育に関する案内の多言語化になります。保育ママの制度につい

てですが、保育ママ制度は直訳できる制度がなく、ナニーやベビーシッターと混同されやすいです。日本につきましては保育という事業になっておりますので、違いを説明に入れながら三言語にしたものを子ども施設入園課で使用しております。次の新規事業は、シティプロモーション課で、秋のイベント情報を集めたホームページを作成ということで、足立区の公式ホームページに機械翻訳ではない、英語で作成されたページや英語専用の Facebook ができました。特にイベント周知に特化した内容になっております。これはシティプロモーション課にいる専門非常勤が訳して載せております。案内表示などの多言語化については、区の建物の案内サインについて日本語を含めて四言語併記にした案内サインについて載せています。住区センターや地域学習センターの建替えの度に四言語併記の案内サインにしております。日本語ボランティア教室の充実につきましては、地域調整課多文化共生係の事業になりまして、先ほど宮崎副委員長、坂本委員といった日本語教室の代表者の方にやっていただいている日本語グループが平成 30 年度につきまして 16 教室ございます。こちらの運営についての内容を記載させていただいております。こちらの日本語教室につきましては代表者連絡会を通じまして、代表者の方と意思疎通ができるように努めている次第でございます。続きまして、拡大事業といたしまして、外国人も含めた幼児の保育環境を充実させるための取り組みです。保育の現場につきましては、親御さんのみならず、お子さんにつきましても、多文化が進んできました。保育園のほうでもかなりマニュアル化で多言語化したり、あるいはスマートフォンの翻訳アプリを使ってコミュニケーションに役立てたりしています。また、今までもアレルギーに関する食事の配慮をしていましたが、食生活

や文化、宗教的に食べられないものを除去したりすることも対応するようになったので、継続ではなく拡大にしたということでした。次に、医療環境について、余談ですが、比較的外国の方にも健康診断に興味ある方がたくさんいらっしゃいます。40 歳前検診や 39 歳までの検診の問い合わせも非常に多く、外国人相談員が間に入ってご説明をしたりしています。教育についてですが、こちらは継続事業となっておりますが、今まで施策として事業名が一覧になっていない部分もございまして、今回改めて整理して入れさせていただきました。こども家庭支援センターでやっている教育相談やチャレンジ学級、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーといった事業がございますので載せさせていただきました。続きまして教育支援、こちらは劉委員がいらっしゃいました日本語適応指導講師についてです。一人の児童・生徒につき小学校で最大 48 時間、中学校で 96 時間まで派遣可能です。各小学校・中学校から教育指導課に直接申し込みいただき、教育指導課のほうで日本語適応指導講師として登録している方を依頼した学校に派遣して、日本語指導を行ないません。こちら 2017 年分実績は小学校 117 人、中学校は 39 人となりました。この内訳に関しては中国語が多いということでした。外国人講師派遣、英語の教育を充実といった事業は、学力定着推進課の事業になっております。英語チャレンジ、英語マスター講座についても同じく英語の学力向上を目指したものになっております。日本語ボランティア教室による日本語学習支援、こちら昨年度は日本語教室 18 教室ございました。18 教室で計 729 回開催、学習者は延べ 398 人、ボランティアは延べ 197 人となっております。続きまして、防災・危機管理については、先ほど坂本委員もおっしゃっていたように、避難情報等になり

ます。防災アプリや Twitter を使ったりした防災情報の共有の推進です。地域の防災訓練は町会の方が中心で行なっている避難所運営訓練に外国の方も出てきてください、一緒にやりましょうといった内容です。平成 27 年には朝鮮学校で一度避難所運営訓練をやりました。私もそのとき区民事務所におりましたので、防災服を着て訓練に参加しました。続きまして、あだち防災マップ&ガイドについてですが、災害対策課で作っています。こちらが多言語化されているものがございます。多文化共生のパンフレットスタンドにも置いてありますし、災害対策課にも置いてあります。英語、中国語、韓国語の三言語です。必要な方がいらっしゃいましたらお渡しいたします。次が防災アプリについては、三言語で作成してあります。SNS を見る方が多いのではないかとということで作成したそうです。災害対策課が担当で、昨年度のダウンロード件数は 6,600 件以上。ダウンロードした方の言語まではわからないので、日本人も含めての形となりますが、かなり人気のあるアプリとなっております。また、Twitter に緊急情報発信体制に関しましては、こちらは主に地震のときに、災害対策課が掲載したものを英語・中国語・韓国語の相談員が翻訳し、掲載する予定です。但し、区役所のパソコンからしか公式 Twitter 等にアクセスできません。続きまして、経営・労働環境につきましては、日本人・外国人関わらず企業経営支援課のほうでやっている事業を載せさせていただいています。ボランティア登録制度の充実では、外国語・文化交流ボランティアを随時募集・登録していただいています。区立小・中学校への国際理解教育という事業を多文化共生係でしておりまして、今は、オリパラ教育の一環として国際理解教育を小学校・中学校から申込みが多数あり、派遣をしております。各ボランティアの自分の国の文化紹介、音楽やダン

スの披露をしています。この外国語・文化交流ボランティアは通訳ボランティアを含めまして、92 人（2018 年現在）となっております。ボランティアをしていただける方がいましたら是非多文化共生を案内していただきたい。既にご登録いただいている方も、みなさん、引越などもありますので人数等、随時変わっております。日本語教室で日本語が話せるようになった方などでボランティアに興味のある方いらっしゃいましたら、是非登録していただければと思います。よろしく申し上げます。続きまして多文化共生関連団体との連携では、JICA、JOCA の表敬訪問、また東京都の外郭団体、国際交流協会との会議を載せさせていただいております。国際交流委員会は東京都の外郭団体で、東京外国人支援ネットワーク運営会議を主催しております。この会議は、他区の国際交流協会との会議になりまして、年に大体 4 回開催され、足立区からは多文化共生係が毎回出席させていただいています。続きまして区政モニターアンケート、世論調査については、国籍に関係なく、区民の方にアンケートや調査文をお送りしています。教育計画はただいまの時期改訂中ということで教育ビジョンに基づく多文化共生の取組につきまして今計画を策定中ということでありました。国際理解教育の推進は多文化共生係でやらせていただいております。先ほど申し上げた国際理解教育が、平成 28 年 29 年に急に申し込み数が上がりまして、実績として区内全体 120 クラス、そして延べ 3458 人の生徒・児童に参加していただいております。文化交流ボランティアに講師をお願いしており、自国の文化あるいは踊りなどの紹介していただいています。例えば、中国の方は、二胡の演奏をしていただいたり、フィリピンの方は、フィリピンダンスをやっていただいております。日本語ボランティア教室「かけはし」で学習しているメキシコの方も綺麗な踊りを、こ

の国際理解教育で披露していただいております。次に、留学生交流プログラムとしては、明海大学との留学生との交流といった形で、小学校との交流をやっておりました。地域調整課多文化共生としましては、毎年11月3日、あだち国際まつりにおきまして、東京電機大学国際センターと協力しまして留学生のブースを設けております。子どもたちが留学生と色々な言葉で挨拶しようとか、ちょっとしたゲーム感覚で多言語に触れるブースとなっております。毎年電機大学をお願いして出しているです。あだち国際まつりは、昨日出店・出演申込みを締切りまして世界の食の出店者やステージ出演者を選定している最中です。最後になりましたが、推進体制の整備として、足立区外国人施策に関する庁内連絡会議で庁舎内の主に窓口対応がある所属と連絡調整をしております。出席部署は課税課や国民健康保険課、国民年金課、入園や就学に関する部署です。以上ざっと説明をさせていただきました。昨年度に比べてかなり一覧表をみやすくしました。施策について、他に質問やご意見などございましたら、この会議を通じて掘り下げていきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

加藤委員

いくつか廃止になったものがございますね。廃止になったものはもうなくなった？例えばニュースレターなどは？

事務局

新規事業をはじめるとのことでした。新規事業は、施策一覧にはまだ入っていませんが、広報課でやっていたものをやめて観光交流課が、観光に特化したものに変更することでした。

加藤委員

あだち若者サポートステーションの三言語の掲示物廃止。これは？

事務局

こちらにつきまして、就労支援課が担当課で、北館2階のあだちワークセンターでの配布物ですが、多言語化は英・中・韓でしたが、実際にはベトナムやネパールの方が多くいらっしやり、多言語化しても読めないのをやめたとのことです。第二言語として英語が話せても読むことはできないそうです。サポートステーションに来たときには、通訳ボランティアや外国人相談員が通訳支援しています。

加藤委員

ハローワークの外国人就労相談の廃止とは？事務局

こちらにつきましては、新宿にあるハローワークが、在留資格によって2つ窓口がございまして、情報量が全然違います。そちらを案内するようにしています。外国人専門のハローワークとして特化している新宿の方が仕事がより見つけやすいかと。

久米参事

新宿のハローワークってそんなにすごい？外国人向けとしては？

事務局

在留資格別に外国人向けの窓口が2つあります。情報量が膨大なので、足立区内の求人だけでなく、通勤可能な場所全ての求人を探せると。

久米参事

外国の方もハローワークに仕事探しに行くんですね。

柳委員

最近結構多いですね。新宿は予約しないと、そのまま行くとあまり対応できないくらい人が多いです。

坂本委員

私、通訳ボランティアをやってるんですが、そのときに2階にあるハローワークさんのほうに外国の方が仕事を探しに行くときがありますよ。そのとき私も一緒について通訳

させていただいています。結構このあたりは多いです。

久米参事

それは外国の方を募集する？それとも仕事募集で外国人の方でも可っていう募集？

坂本委員

特に外国の方を排除している仕事っていうのはないですね。そういう差別はしてないですね、求人です。ですから、海外の方でも就職希望があれば必ず面接は受けているようです。それと今、特異な例ですけども、一部の企業においては援助金を出して、海外の方に日本語教育をさせてるっていうところもあります。その方が日本語を完全に習得できたら勤めに来って形で。3ヶ月間無償で教育をしているっていうような例も、そこのハローワークのところで聞きましたし、個人の方にも聞きました。

久米参事

どんな人が求められているんでしょうかね？

坂本委員

そこまではわかりません。そういった形のものは、こちらの通訳させていただいている中でありました。個人的な詳しいことは特に聞いてませんが、大まかにはそういうことでした。

加藤委員

留学生との連携とは？

事務局

区内にある大学と連携という形で、最初にシティプロモーションで道筋をつけて、次に学力定着推進課で明海大と連携になりました。次の施策の留学生との連携イベントはあだち国際まつりでのブースのことです。

また、余談ですが、当日、人権推進校である本木小学校の子どもたちが、テント設営等働いていた外国の方にアンケートという形でいろいろ聞いていました。日本はどうですか？

仕事どうですか？など。本木小学校が足立区で人権推進校として外国の方の人権について、区内外国人の方と話したり交流をしているそうです。

宮崎副委員長

すみません。事前に送ってくださって大変ありがとうございました。それにとってもみやすい形にくださったこと、感謝です。それから、今私も読ませてもらって事業廃止の原因は何なのっていうのが素朴に思いましたので、質問してくださったんでわかりました。発展的解消なのかとか素朴な疑問がありました。それで、いくつか疑問はあるんですけども、時間が限られているので、絞ってお聞きします。継続事業ですが、区内の避難場所表示の看板は、日英だけで大丈夫なの？ってちょっと思いました。他がね、中韓もあって、ここは日英だけでいいの？っていう風にこれは一番思ったんですけどね。

事務局

これにつきまして、国の指導がございまして、100ヶ国以上の国籍の方が日本にいる。その言語にできるだけ対応して併記すると字が小さくなる。いざっていうときに遠くから読みづらいとのことで、四言語併記にしています。

宮崎副委員長

もちろん全てはいいから、4ヶ国になんてしないんですか？

事務局

4ヶ国語にすると字が小さくなるので、国はピクトグラムを推奨しています。走る格好の絵で非常口とか。

宮崎副委員長

はい、ええ。

事務局

誰にでも、例えば子どもにでもわかりやすいものということでピクトグラムが推奨されています。

宮崎副委員長

絵でね、わかる。ピクトグラムっていうんですね。

事務局

はい。国際基準のピクトグラムです。国際基準で英語が基準になっている、そこに日本なので日本語を加えるという指導です。

久米参事

確かにピクトグラムもオリンピックで世界標準かなんかだよな？

事務局

そうです。例えば、日本の温泉マークも日本独自のピクトグラムから国際基準のピクトグラムに変えましょうって話もありまして。

久米参事

オリンピックに向けて都内の案内マークだとか世界標準に変えるっていうシフトで自主的にやっていますね。

宮崎副委員長

ところが他の案内は4ヶ国語で足立区内では、やってるじゃないですか。それはそれで私はいいと思ってましたけどもね。

久米参事

区所有の公共施設全て案内を4ヶ国語に。

宮崎副委員長

ええ。足立区ならではですよな。

久米参事

足立ルールですね。

宮崎副委員長

やっぱり地域の独自性出すっていう。

秋生部長

ゆっくり読めるようなものはいっぱい書いてかまわない。避難の場合は、パッと見てさっと行動する必要があるのだからやっぱり絵が一番わかりやすい。

宮崎副委員長

そうですね。あと、これ素朴な疑問なんですけども、日本語適応指導のことなんですけど、

小学校では週2回原則3ヶ月。中学校は同じく週2回ですけれど原則6ヶ月ですよな？なんでこんなに差があるんですか？いろんな事情があってこう決まったんだろうって思うんですけども、その事情を教えてもらっていいですか？私から見るとね、素人考えすると小学校でもっと増やしてもいいんじゃないのって素朴に思うわけですよ。この数字見ると小学校のほうが対象者は多いですよな？だからやっぱり時間が少なくなるのかなって、その兼ね合いかなと思ったりもして。

劉委員

これは私も疑問です。原則として小学校は3ヶ月。3ヶ月を過ぎると全然指導できない。私の考えはたぶん中学生だったらもうちょっと時間かけないと、勉強しないと、数学とか難しくなるかなと思って。小学生だったら遊びながら毎日楽しく授業しながら学ぶことができるかなと思って。漢字書きもすぐに覚えるかなと思って。

秋生部長

小林先生、何かご存知のことは。

小林委員

実際、人によるんですよ。習得が早い子と、性格にもよるんですけど。大体延長していません。更にお願ひしますと。

劉委員

でも6ヶ月が終わったら延長できない状態に。この前私もうちょっと勉強したいって、校長先生と相談して、校長先生は教育委員会に申請したらできなかった。

宮崎副委員長

延長できるっていうのはちょっと聞いてホッとしました。

小林委員

際限なくできる訳じゃないですよ。回数は決まっていたと思います。延長はできますが、日本に来て6ヶ月以内じゃないと申し込めな

いんじゃないかな。そういう規定も、難しいのかなという風にちょっと思う気がします。

柳委員

私は昔、聞きました。やっぱり予算（人件費等）があるので、たくさん予算を使わないために小学校は3ヶ月と。小学校の児童は早く慣れるから3ヶ月ですね。でも中国の子どもたちは漢字出きるから3ヶ月で終わる子は結構いらっしやる。けれども例えばフィリピンの子は漢字書けないから結構延長しています。3ヶ月はもう、全然足りないから。結構延長しています。中学校はやっぱり受験が関係あるから。あとは勉強の科目が違って、結構難しい単語が多いから、中学校も昔は同じ3ヶ月で必要な人だけ6ヶ月だった。

華委員長

その後、中学生はほぼ延長だからそのまま6ヶ月になりました。外国人は、異国にね、新しいところに入って、まず語学を勉強しないとイケないんで、理解力としては中学生の方が理解力がある。ただし、語学力っていうのは小さい子どもが吸収しやすい。大人30代40代は異国に行くとかね、やっぱり訛りとかそういう吸収力がなくなる訳なんです。今中学校が6ヶ月、小学校が3ヶ月。まあできる子とできない子がたぶんいる。要は最低6ヶ月は必要じゃないかと。ただし、予算もあるんで。

柳委員

子どもの意欲にもよるんですね。やりたい子は結構早くマスターできる。日本語適応指導講師と話をしまして、やっぱり勉強したいひと、親が日本語できるひと、子どもは結構早く習得できます。親も日本語できない子は、やっぱり時間かかっちゃう。あと以前の話ですが、6ヵ月後に日本語ボランティアに助けてもらうとか。前もそういう話はしましたけ

れどもやっぱり夜の日本語ボランティア教室は通うのにちょっと危ないところもあって今大体が止めました。水曜日の午後だったら学校早く終わって、もし教室に間に合えば生徒たちにやりましょうとは思いますが、ただ、はっきりいうと子どもたちは遊びたいので。もう、学校で勉強して、休みの時間にまた勉強では、子どもたちはあまり勉強したくない。だから、日本語ボランティア教室行っても遊んじゃう子が多い。それもちょっと私も考えまして、難しいところですよ。親の気持ちは勉強、子どもの気持ちは遊び。だから一番いいのは、子どもが早く日本の社会に溶け込んで、日本の子と遊べばすぐ日本語を覚えちゃう。

久米参事

高校進学っていうのはどんな風に考えているんでしょうね。中学生だったらほぼ必ず受験ってあるじゃないですか？都立に行くか私立に行くか、どこの学校を選ぶのか、大学の附属に行くとか選択肢、進路相談とかあるじゃないですか。ちゃんと理解いただいていますか？

柳委員

結構親たち、私よくいろいろ話してるのは中国の方ですが中国の親は大体子どもにとっても熱心ですので、もう早めに相談をしております。今日も来たときにエレベーターである中国人と会ってまだ小学校1年生、これから1年生になる子の相談をされて、やっぱり中国の人はみんなこういうのはすごい熱心で、子どもの将来考えているので、塾に行かしたりする人も結構多くいらっしやいます。

池田委員

親の問題もあります。やっぱりできないとか、特に読めない親多いですね。それで子どもだけ（日本語教室とか行かせる）、親は（日本語を習いに）行かないよね。そっと見守って

るだけ。そこは問題ありますね。親も日本語勉強しないとダメ。そして読めること大事だなと。これしなきゃならない。それ、わかる。私、そう思ってる。ボランティアとしてね、同じ親として、親からもっと勉強して（日本語を）読むだけでもいいから。書けなくてもいい。読むだけ。そしたら子どもの気持ちもわかって勉強しなきゃならない。子どもが親の態度を見て子どもも学校行くんですよ。親の態度がよくないと思う。

柳委員

親はすごい大事。前1回中国の適応指導の先生ですが、やっぱり親は東大の大学生、大学院生。子ども、すごい（日本語覚えるのが）早いつて言っていました。だから親一生懸命教えると子どもも早い。

華委員長

環境も大事。

柳委員

そう。だから環境もある。だからその方が、あの子本当に早いよ、さすが親が違うって。違うって言ったら失礼だけど東大の、両方も院生で、子どもにはすごいきつと教育上手に教えているから、だから3ヶ月で全然大丈夫ですね。それやっぱり適応指導というと、（日本語を教える）先生も必要ですけれども親の気持ちはすごく大事。

劉委員

確かに。家庭の中でもし日本語で常に話せば日本語はすごく上達が早い。みんな家で中国語でしゃべるとやっぱりなかなか上達できない。本当に環境は大切ですね。

柳委員

フィリピンの方とか外国の方、一番心配なのが漢字書けない。

池田委員

漢字書けない。

柳委員

今まで漢字勉強したことないから、漢字教えるのがすごく時間かかるんです。だから大体フィリピンの適応指導は3ヶ月たってもまだ書けない子いっぱいいます。私たち漢字書くとき四角の中に書くよと、いっても四角は何？ってわかんないんです。

池田委員

日常生活に使ってないから。おうち帰ったら全部タガログになっちゃうから。

久米参事

家に帰ったら日本語じゃなくてタガログ語で話すの？

池田委員

日本語、片言になっちゃうんです。私、だって日本語わかっててもどうしても片言になっちゃうんです。それ、自分のアイデンティティにも関係ありますね。だから、親を勉強させないと。

華委員長

さっきあの、小学校、小学生は48時間、中学生は96時間、倍になると。他の自治体はどうなりますか？

事務局

全ての自治体で（足立区のような日本語適応指導の制度が）ある訳ではないです。外国人支援ネットワークの会議に行ったとき、日本語適応指導の話になりましたら、他の団体から国としてやれっていう指導はあるけれども外郭団体の国際交流協会に丸投げをして区は間に入っていないってところもございました。そういう自治体ですと、（時間は）はっきりしていない状態で。

柳委員

足立区が一番優しく手厚く応援してると思いますよ。適応指導ない区いっぱいあります。あとボランティア教室も足立区今18個あるけれども、どこの区に聞いても一つ二つです。10個以上考えられない。だからたまに（他の

団体に)手伝いとか通訳したときに、日本語できないですか?日本語ボランティア教室は?って聞いたら、ないよって。足立区18個もあるよ。荒川区に最近よくある女性団体にDVの支援団体がすぐ足立区越えて町屋にあるけれどそちらにたまに手伝い行ってるんですが。ほんとに日本語できないからDVになってひとり親になってもう本当に大変な生活ですの。

劉委員

あの、ちょっと気づいたことを。地域の防災訓練の中で、外国人が参加できる訓練メニューがどのようなメニューかわからない。

事務局

足立区の防災訓練は町会・自治会単位で避難所運営訓練をやっていただいています。町会・自治会に入っている人だと(回覧板などで)お知らせは行きます。これは(はじめての町会、自治会のパンフレットは)加藤会長も作成側に入ってもらい作ったものです。(防災訓練の)お知らせが来ていない方でも来て頂くと、地震体験車をみたり、こういうのが災害用のトイレですよとか、アルファ米ですよとか、非常用物品紹介があります。アルファ米って日本のものなので(外国の方は)見たことない人もたくさんいます。

加藤委員

実際に、参加をしていただいて経験してもらうのが一番いいですよ。それはですね。町会に入っていないなくてもですね。受け入れる防災訓練は多いんじゃないんですかね。学校を拠点として、足立区の小中学校を拠点としてやってるんですね、防災訓練は。全部の町会・自治会が入っていますから、どこかしの学校でやっています。ですからそのところに依頼すれば、町会に入っていないんですけど参加してよろしいですかって聞かればどうぞどうぞって受け入れてくださいと。どこで

も受け入れると思いますよ。

劉委員

あの疑問なんですけど、外国人だから例えば日本語が拙いとかでそのリーフレットがあってもわかんないかな、参加できない状態かなと思って。

池田委員

あのね、その地域のその近所の回覧板、大体入ってる。回覧板。

劉委員

うちの近くには1回も入っていない。

事務局

防犯まちづくりの拠点なので、やっていると思う。

久米参事

確か定期的に区とか専門家のひとと相談しながら、空き巣減らそうとか通り魔減らそうとか死角を失くそうとか防犯カメラ取付けようとか街灯をここにもう1個つけようだとかっていうのを絶えずやっているところですから確か防災訓練も独自にやっていたはずで。たぶん住んでいる方全員に周知されていないのかなと思いますね。

秋生部長

わざわざ塀を高くしないで窓から外が見えるようになっていう町のつくりになっているね、あの一角だけ。

劉委員

足立区で安全だと思いますけど。

柳委員

やっぱりこういうもの、回覧板で回したい。回覧板が回らなければ外国の方もわからない。

事務局

掲示板や町会の掲示板などにお知らせはないですか?防災アプリは三言語とのことです。アプリをダウンロードして、該当言語を選ぶようになっています。

加藤委員

このリーフレット（はじめての町会自治会）
につきましては、外国の方も増えていますから
外国の方も対象、ターゲットにしたんです
が、残念ながら今回は日本語版ですね。それ
です。今年度の予算で、外国版のリーフ
レットを作る予定をしております。それで外
国の方にもわかるようにこのパンフレットを
作成していく予定でございます。

宮崎副委員長

何語なんですか？

久米参事

最初が中国語で、それが終わったら韓国語、
英語です。タガログ語はないですが、必要か
もしれないですね。

加藤委員

フィリピンの方も多みたいね。

久米参事

今現在ですね、区内の区民事務所、それから
小中、幼稚園、保育園それから病院。結構配
ってますね。それ見ていただいた方から、後
ろのQRコード使って町会に入りたいって申
込が来てます。

劉委員

あだち国際まつりのときは防災体験がある。

事務局

リーフレットに地震体験車の絵もあります。
地震っていうのが海外では珍しい、自分たち
はもう小さいときから地震に慣れていますが、
やっぱりあまりない国からするととても珍し
いらしい。

劉委員

そう、1回経験したことある。

加藤委員

ああ、震太くん。震度7くらい。

劉委員

そうそう。結構激しい。

事務局

リーフレットに書いてある避難所運営訓練、

防災訓練で、自分のところの家はどこの小学
校や中学校に行けばいいのかが、訓練に参加
することによって避難所がわかる。家族バラ
バラのときに地震があっても避難所に行けば
会える。

加藤委員

ここにですね、一番後ろにQRコードってい
うのがある。それを読み込んで送ってもらえ
ば、役所の担当の地域調整係のほうへ届く。
地域調整課のほうでもって住所を聞いていた
だいて、どこの住所ですか？それで住所を聞
いて、どこの学校に行ったらやってますよっ
ていうようなことを。

久米参事

フォローします。基本的にはやっぱり避難所
っていうのは、お近くの小学校か中学校が避
難所になる予定になっているんですね。小学
校だとか中学校、足立区の場合、耐震基準は
1じゃなくて1.6でしたかね。1.7くらいで作
っています。例えば震度、マグニチュード6.7
とが1発きても2発きても3発きても大丈夫
なくらい頑丈に作ってある。この区役所もそ
うです。

秋生部長

一般的な区の基準だと民間の1.5倍。避難所
だと更にプラスアルファで1.7とかで作って
る。よく役所の建物は建築費が高いついてい
われるけど壁の厚みとか全部違ってきてるん
です。こういった施設は民間の1.5倍っていう
のが一応の基準です。

池田委員

足立区、特に低いところですね。もし津波来
たら？学校とか1階か2階いくじゃない？建
物の上、例えば団地だったらどうでしょう？

秋生部長

垂直避難します。さっきおっしゃたみたいに
千住辺りだとひどい時には5mくらいになる。

坂本委員

5 mです。2週間水が引かないそうです。

秋生部長

5 mというと2階の屋根に登らないと危ない。だから学校でも3階だとか4階に避難する。備蓄物品も1階に置いてあったものを2階3階にあげるだとか工夫をしていかなきゃいけない。例えばこの庁舎も水害の場合、発電機は普通は地下にあるので、建物は残ってるけど電気は全部消えて使えないってことになる。一般的な民間のビルもそういうところが多いんで、例えば北千住のマルイなんかも、水出れば止まります。建物は残ってても電気使えなくなります。そういうことはこれからいろいろやってかないといけない。今まで地震に対する対策をいろいろ考えて丈夫にやってたけど水が出ると結構弱い。

久米参事

大体電気設備がいかれちゃうんですね。高圧電線6000ボルト引いてトランスで変換して、トランスが抜けたらアウト。

加藤委員

電気が空調やエレベーターもね、全てダメだもんね。

秋生部長

パソコンもダメなんで。携帯が頼りになるかもしれないですよ。

劉委員

あと、あとはね、地域の方々ね、例えば、外国人もいます。日本人もいます。日本人もちろん日常的に小さいときからどうやって避難するかわかるけど、外国人の方はたぶん完全にわかっていないと思います。それと、日本人の方と外国人の方は人見知りして万が一何か災害あったときはみんな助けようとしてもできない。もしできればイベントとかで、みんな関係がよくなって日常的に仲よくして、せめてあいさつくらい顔だけでも知ってればいいかなと思ってます。

久米参事

それ、大事ですね。町会・自治会に入っただく。入っていただいて、こども会だとか夏まつりだとか納涼祭だとか。

劉委員

そう、そういうイベント、おまつりみたいなね、交流できれば。

加藤委員

ここ(リーフレット)に主に町会の行事、これだけじゃないんですけど。主な行事ですね。この真ん中に書いてござまして。この他にもやっているんですが、こういったビューティフルウィンドウとか町をきれいにとか、そうすることによって犯罪をなくしていこう。地域住民のみなさんのつながりを深めよう。その下に書いてあるのが、学校の登下校の見守り、防犯活動をしてですね。こどもたちの安全・安心をしていこうと。その下が地域の町会・自治会の運動会・おまつりですね。こうしたものに参加していただいてですね。イベントのあと、親睦を深めていくと。その次がですね、今言ってます避難所運営。学校を拠点としての避難所運営訓練、防災訓練ですね。これ、1年に1回どこの地域もやっていますから。こういった行事もやっていますので、ぜひ町会のほうに、自治会のほうに入っただきたい。で、町会・自治会の入り方は今いったように申込書もありますし、QRコードを読み込んで申込してもらえれば、役所の方から町会に連絡が行き、どこの町会・自治会に入っただけであればいいですよということになりますので、ぜひ町会・自治会のほうに加入していただければ。

久米参事

今、町会・自治会の役員さんにも中国の方とかフィリピンの方とかいます。フィリピンの方って非常にコミュニケーション能力が高いのか、結構町会・自治会の婦人部だとかいう

いろなところで活躍されてるフィリピンの女性
って多いです。あと、住区センターで働いて
る方とか学童保育室で働いているフィリピン
の方など区の公共施設で働いているフィリピン
の方は結構いらっしゃってですね。みんな
明るくってコミュニケーションしやすい。た
ださっきのネニタさんの話じゃないけど漢字
は難しいですよ？

池田委員

私は読める。高校も行きました。

柳委員

夜間中学から夜間高校まで勉強しました。

久米参事

普通に冗談とかかわせる話できてても漢字読
めないと聞いて。

池田委員

ああ、そうですね。時間かかりますね。でも
読めば、読む。あとね、ひとつ私ほんと勧め
たいんですけど、フィリピンの人たち。これ
(電子辞書のこと) 私とっても役に立ちまし
た。日本語と漢字ね。ただ、トランスレート
するだけじゃなくて知らない漢字もここ書い
てみて英語になるの。そしてその英語は日本
語にも出るの。そうしたらわかります。私、
とても、今でもいつも持ち歩いている。とても
大事です。これみんなに勧めたいんですけど
ね、ただ買わなくちゃいけない。

宮崎副委員長

最後にちょっとすいません。いっぱいあるけ
ど、絞ってひとつだけ最後に言わせて。ほん
とにありがたいと思っているとこなんですけ
ど、ボランティアたちの支援、この地域調整
課多文化共生でやってくださってくれてるか
らこそです。さっき発表では16教室ってお
しゃってましたけど、18教室？。

事務局

29年度は18教室あったんですが30年になっ
て16教室に。

宮崎副委員長

ですけど、こんなに盛んなボランティアグ
ループがあるっていうのは他に例をみないっ
ていうふうに私も思ってます。支援があるか
らっていう側面は大きいっていうふうに思っ
て感謝してるんですけど、ここに書いてある
ことについてちょっと疑問。あの、この日本
語ボランティア支援講座と中級講座っていう
ふうに設けてありますよね？これ、この講座
を受ける方からするとわかりにくいですよ。
何で支援？養成じゃないですか、中身みると。
養成のための講座。だから養成講座って前
言ったような気がするのを何で支援にしちゃ
ったの？って。遠慮したんですか？って。い
い大人を養成するっていうのを失礼にあたる
ってこうそれこそ付度して下さって、支援
って言い方に変えたのかなって。ちょっと思
ったりもしたんですけど。今度は中級講座っ
てなってるわけですよ。支援と中級とに分か
れている。養成じゃないのか？わざわざ支
援？初級でもよいのでは？

久米参事

名前変えましょう。

事務局

初級中級にしますか？

久米参事

初級中級で。

事務局

今年は終わったので。来年度から、31年度か
ら初級とします。

委員長

あと5分ほど。

事務局

こちらが成果、支援講座の受講者の結果です。
民泊については、参考まで届出のあった業者
のリストです。

岡野委員

届出？

【会議概要】

会 議 名	多文化共生推進会議
事 務 局	地域調整課多文化共生担当
開催年月日	令和元年9月4日(水)
開催時間	13時30分～15時
開催場所	本庁舎13F B会議室
出席者	<p>華委員長、宮崎副委員長（日本語ボランティア）、 坂本委員（日本語ボランティア）、池田委員（フィリピン出身）、 柳委員（中国出身）、劉委員（日本語適応指導講師）、 加藤委員（町会自治会連合会副会長）、大塚委員（小中学校校長会）、 岡野委員（東京都行政書士会）</p> <p>事務局 秋生地域のちから推進部長、久米地域のちから推進部参事、 多文化共生担当係長、多文化共生係員、英語相談員、中国語相談員、韓国語相談員</p>
欠席者	2名
会議次第	別紙のとおり
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度（令和元年度）第1回足立区多文化共生推進会議 次第 ・ヘルプカード ・夜間行政書士無料相談会ちらし ・あだち国際まつりちらし、 ・多文化共生センター東京の多言語学習用教材ご案内 ・消防119（多言語版） ・地震から身を守るために（東京都の多言語ちらし）
その他	

様式第2号（第3条関係）

（審議経過）

久米参事

今日の冒頭の司会をさせていただき地域調整課の久米でございます。よろしくお願いいたします。議事に入るまで司会をつとめさせていただいて、そのあと委員長に司会を移りたいと思います。まず、主催者を代表して地域のちから推進部秋生部長から挨拶がございますので、よろしくお願いいたします。

秋生部長

地域のちから推進部長の秋生と申します。入管法改正により、外国人人口は約4.8%、就学前に絞るともっと高いです。現在足立区では、雇用主からみた実態調査を始めています。

久米参事

では、これより令和元年度の新委員の委嘱をさせていただきますと思います。委嘱状は秋生部長から席に伺ってお渡しします。お名前を読み上げましたら、ご起立いただいて委嘱状を受け取り、ご着席ください。よろしくお願いいたします。

（委嘱状 交付）

ここから委員長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

華委員長

今日の議事に入る前に、新しい方も入られたので、自己紹介をしたいと思います。名簿順に簡単に自己紹介をいたします。まずは私から。私は生まれは中国ですが足立区に住んで25年経ちます。この多文化共生も十数年くらい関わってきて、足立区としても改善しつつあるという感じを受けています。この会議にて、意見の交換をし、益々住みやすいよりいい街を目指して頑張りたいと思います。

宮崎副委員長

宮崎と申します。私は足立生まれの足立育ち。日本語教室のメンバーとして、グループあ

ちでボランティアをやっております。グループあだちは2003年に設立です。日本語ボランティアのメンバーは足立区が育てたようなもので、足立区は他に比べ、フォローが厚いです。

坂本委員

坂本と申します。5才から74才の現在まで、足立区に住み、途中海外に2年ほど暮らしました。私も日本語ボランティア教室にたずさわっております。かけはしという日本語教室で、1987年設立、Lソフィアでやっています。

池田委員

私は、足立区に住んでからもう25年以上です。息子が学校に行って、日本語を習い始めました。何ができるかわかりません。よろしくお願いいたします。

柳委員

柳です。いつもみなさんにお世話になっております。私も足立区には30年です。今は厚生労働省のホットラインの仕事や四中夜間で教えています。四中夜間は不登校を克服できる良い学校です。前髪を長くして、目を隠して、下を向いていた生徒も、半年で髪を切り、胸を張るようになりました。四中夜間の宣伝みたいですが、よろしくお願いいたします。

劉委員

劉と申します。私は11年前日本に来て、9年前から足立区に住んでいます。日本が好きで日本が故郷のようです。今、公立の小中学校で日本語適応指導講師をしています。何かできることがあればがんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。

加藤委員

加藤でございます。町会長の立場から参加させていただいてます。現在足立区の町会自治会は437あり、約9割の388団体が町会自治会連合会に加入しています。町会の加入率はお存知のとおりだんだん減少してきておりま

す。町会加入の多言語化パンフレットを今年の2月に作成し、区民事務所においています。外国の方にもぜひ加入してほしいと思います。

大塚委員

小学校中学校の校長会の担当、ということで参りました梅島第二小学校校長大塚と申します。足立区で教員20年を勤め、副校長、そして現在の校長になりました。外国籍の子どもが増加し、国も多岐にわたっています。子どもは適応できますが、親御さんが手紙を読めないなど困っています。

岡野委員

東京都行政書士会足立支部の岡野と申します。よろしくお願ひします。この会議には4~5回目の出席です。行政書士会足立支部と足立区役所との関係は年2回夜間にLソフィアで外国人の方向けの無料相談会のほか、あだち国際まつりで外国人の方向けの相談会をしています。また、北館3階区民の声相談課で相談員をしています。資料にもあります新在留資格により、受入機関が外国人の生活支援などを委託する登録支援機関の登録が、8月末で2000件となっており、企業経営者としてビジネスとして参入する会社が増えていると思われれます。今後も、相談など少しでもお手伝いできるようによろしくお願ひします。

華委員長

ありがとうございます。それでは本日の議事に入りますけれども、次第に従って進めますが時間としては3時少し前ををめぐりして進めたいと思います。それでは議事についてご説明をお願いします。

事務局

多文化共生推進計画の施策の2018年度施策と実績について説明をさせていただきたいと思ひます。事前にお送りして、目を通していただいたと思ひますので、ざっくりと説明し質問を受けていききたいと思ひます。(中略)

加藤委員

拡大になっている、P4の取り組みはどのような部分が拡大ですか。

事務局

コミュニケーションについては、翻訳アプリなどを利用し、積極的に対応していき、食事への配慮もアレルギー対応だけでなく、宗教上の除去や食品表示に努めています。

加藤委員

通訳ボランティアや国際理解教育というのは？

事務局

本庁舎等で手続きの通訳をするボランティアや小中学校で自分の国の文化紹介をします。歌や踊り、スクリーンを使用した映像などで

加藤委員

どのような流れで？

事務局

働いているボランティアさんも多いので、日程調整のため、例年5月頃、全小中学校に募集をかけ、年間予定をたてています。

委員

全ての学校の申し込みに対応できるわけではなさそうですね。

坂本委員

ボランティア団体で狂言を学校で紹介しています。要請があれば、お伺ひします。

加藤委員

外国人人口では、ベトナムも増えているみたいですね。

岡野委員

相談では、在留資格は中国が多く、帰化は韓国が多いです。

宮崎委員

スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーはどう違うんですか？

大塚委員

スクールソーシャルワーカーは要請に応じて、
中学を拠点に不登校から家庭生活支援まで幅
広く行ないます。現在 18 人います。スクール
カウンセラーは週 2 回学校を巡回し、子ども
の心のケアや保護者の相談を受けます。東京
都 1 人、区 1 人です。学校に常駐してほしい
ですが、人員不足です。

加藤委員

歩行者系案内サインで北綾瀬がなかったり、
館内サインは中川区民事務所だけだったりす
るのはなぜですか？

事務局

案内サインはまちづくりの一環で開発途中の
ところがあります。施設の管理担当課ごとに
表記が分かれているだけで、区民事務所、地
域学習センター、住区センター全て館内サイ
ンは行なっています。

宮崎委員

ベルmont姉妹都市の派遣と受入について、
ベルmont市からの受入れが減っているよう
ですが。

久米参事

鳥インフルが話題になった時は 0 人、3.11 の
時にも減少しました。また、受入家庭の高齡
化により受入家庭も減少しています。

坂本委員

学校のお知らせが非常にわかりにくく、日本
語教室に持ってきて、相談されます。もう少
しわかりやすい簡単な内容になりませんか？

大塚委員

学校も苦慮しているところです。学校ごとに
内容も異なるので、雛形的に作ることができ
ればと思いますが、説明が足りないとわかり
にくいという声もあり、なかなか難しいとこ
ろです。

久米参事

足立区ではやさしい日本語を推進していく方
向です。2019 年にやさしい日本語 PT が立ち

上がり、先日、横浜市役所に視察に行きまし
た。全管理職への研修が終了し、今後、やさ
しい日本語への意識改革を進めていく方針で
す。

坂本委員

自分も所属していますが、東京ボランティア
ネットワークでやさしい日本語を出していま
す。ぜひ、ご相談ください。

事務局

その他の資料については、東京都外国人人口、
足立区外国人人口、町名ごとの外国人人口、
最新の区内民泊業者一覧です。

委員長

今日はみなさんご意見もいろいろありましたが、
他に何かありますか？それでは閉会とな
ります。

【会議概要】

会 議 名	多文化共生推進会議
事 務 局	地域調整課多文化共生担当
開催年月日	令和2年9月29日(火)
開催時間	13時30分～15時
開催場所	本庁舎12F 1201会議室
出席者	華委員長、宮崎副委員長（日本語ボランティア）、 坂本委員（日本語ボランティア）、柳委員（中国出身） 加藤委員（町会自治会連合会副会長）、小林委員（小中学校校長会）、 岡野委員（東京都行政書士会） 事務局 秋生地域のちから推進部長、久米地域のちから推進部参事、 多文化共生担当係長、多文化共生係員、英語相談員、中国語相談員、韓国語相談員
欠席者	なし
会議次第	別紙のとおり
資料	・2020年度（令和2年度）足立区多文化共生推進会議 次第 ・YSCグローバルスクールあだちリーフレット ・歩行喫煙防止リーフレット ・外国人在留マニュアル（日本語・中国語） ・在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン ・外国人労働者雇用マニュアル ・足立区日本語ボランティアグループ一覧 ・令和元年度足立区多文化共生推進会議議事録 ・地震から身を守るために（東京都の多言語ちらし）
その他	

様式第2号（第3条関係）

（審議経過）

久米参事

今日の冒頭の司会をさせていただき地域調整課の久米でございます。よろしくお願ひします。議事に入るまで司会をつとめさせていただいて、そのあと委員長に司会を移りたいと思います。今年度はコロナ対策で少人数での実施となりました。まず、主催者を代表して地域のちから推進部秋生部長から挨拶がございますので、よろしくお願ひします。

秋生部長

地域のちから推進部長の秋生と申します。今年度は外国人向けの調査をやる予定でしたが、コロナの影響もあり、今年やるのは諦めざるを得ないかなと思っています。来年是非やりたいです。やるとなった場合は委員の皆様ご協力お願ひいたします。また、外国をルーツに持つ子ども向けの新規事業も始まりました。高校卒業するまで面倒をみてくれるというのが特徴です。

久米参事

では、これより令和2年度の新委員の委嘱をさせていただきますとお願ひいたします。委嘱状は秋生部長から席に伺ってお渡しします。お名前を読み上げましたら、ご起立いただき委嘱状を受け取り、ご着席ください。よろしくお願ひします。

（委嘱状 交付）

ここから委員長に進行をお願ひしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

華委員長

今日の議事に入る前に、新しい方も入られたので、自己紹介をしたいと思います。名簿順に簡単に自己紹介をいたします。まずは私から。私の職は一般のサラリーマンです。足立区に住んで25年経ちます。よりよい足立区にするために、区と関わりを持ち始めました。去年の末頃からコロナが広まってしまって、いつ収まるか分からない状況です。ワクチン

についてですが、中国では既に医療関係者には提供しています。費用は2回で1万円とのことです。

宮崎副委員長

宮崎と申します。私は足立生まれの足立育ち。日本語教室のメンバーとして、グループあだちでボランティアをやっております。グループあだちは、残念ながら現在はコロナの影響で活動休止状態です。

坂本委員

坂本と申します。5才から75才の現在まで、足立区に住み、途中北海道や仙台などでも少し暮らしました。私も日本語ボランティア教室にたずさわっております。かけはしという日本語教室で、1987年設立、Lソフィアでやっています。通訳ボランティアも15年ほどやっています。

柳委員

柳です。私も足立区には30年です。役所でも働いたことがあります。今は厚生労働省のホットラインの仕事や四中夜間で教えています。よろしくお願ひします。

加藤委員

加藤でございます。町会長の立場から参加させていただきますいております。現在足立区の町会自治会は435あり、約9割が町会自治会連合会に加入しています。東京都では断トツの1番です。町会の目的は、安心安全なよりよい街づくりです。コロナで盆踊りや防災訓練が中止となっています。また、青少年対象の事業もやっていますが、学校が3月から休校になりました。6月から再開しましたが、夏休みも短縮となった中で、学業優先としますと、地域の事業はやるべきかどうかと考へ、やむを得ず中止としています。

小林委員

花畑小学校校長の小林と申します。花畑小学校2年目で、その前は竹ノ塚小学校にいまし

た。その時に一度この会議に参加しました。足立区や地域の皆さんが外国の子どもや保護者に対して様々な支援をしていただき、ありがとうございます。竹ノ塚小は、外国の子どもがとても多かったです。花畑小も全くいないという訳ではありません。増えてきている感じがします。そういう方々がより豊かに暮らせるよう、勉強したいと思います。

岡野委員

東京都行政書士会足立支部の岡野と申します。外国の方だと、永住や帰化などの相談を受けています。行政書士会足立支部と足立区役所との関係は年2回夜間にLソフィアで外国人の方向けの無料相談会のほか、あだち国際まつりで外国人の方向けの相談会をしています。今年は1月に子育てネットワークという連絡会に参加し、グループワークをしました。子どもより親の対応が課題かと思いました。

久米参事

地域調整課長の久米です。これまでの1年を振り返ると、大きな台風が2回来ました。罹災証明の発行、避難所開設もしました。今はコロナの消毒部隊など、特に新人職員は対応に追われています。

華委員長

ありがとうございました。それでは本日の議事に入りますけれども、次第に従って進めますが時間としては3時少し前をめどにして進めたいと思います。それでは議事についてご説明をお願いします。

事務局

多文化共生推進計画の施策の2019年度施策と実績について説明をさせていただきたいと思います。事前にお送りして、目を通していただいたと思いますので、ざっくりと説明し質問を受けていきたいと思います。(中略)

華委員長

P.4の日本語適応指導講師の時間が小学校と

中学校で異なるのはなぜでしょうか？

事務局

言葉自体が、小学校はあいうえおから教えますが、中学校は授業のスタート自体がハイレベルなので倍の時間になります。

加藤委員

学校の講師派遣はどの国が多くなっているんでしょうか？ベトナム人が多いと思いますが、対応はできていますか？

事務局

母親がベトナム人ということが多いんですが、結構日本語を話せる方が多いです。フィリピンでも、ベトナムでも、やさしい日本語で日本語を教える指導をメインとしています。また、家で母国語を使用するか否かでもかなり日本語力に差がでます。

坂本委員

日本語ボランティア教室が少なくなっていますが、区としてはどのような方針なのですか？

事務局

区としては、人数が多くて運営が耐えられる教室が残っていくのがいいと思っています。

坂本委員

あと、他の教室との兼ね合いはどうでしょうか？複数通っているしている人もいて、教えている内容がバラバラなことがあります。例えば曜日を連続するなどできるのでしょうか？

事務局

部屋が空いていれば可能、となります。

宮崎委員

日本語ボランティア教室に保育ボランティアという制度があるのですか？

事務局

詳しくは「あった」ですね。今はかけはしさんにしかありません。謝金もうちから出しています。

柳委員

Lソフィアには保育室があるからできたんですね。

事務局

あと、もし小学生であれば条件が合えばぜひ新規事業にご紹介お願いします。（新規事業の条件など説明）

宮崎委員

どのように事業の周知をしているのですか？

事務局

この事業は今年の7月に始まったばかりですが、区内の全小中学校にチラシを配布しています。小林委員、こちらは対象のお子さんにお渡ししていただいていますでしょうか？

小林委員

渡すかどうかは、学校で個別に判断しています。

久米参事

特別定額給付金もそうですけど、結構受けられるサービスを知らない、漏れていることも多いんですね。色んな制度が複雑化していて、日本人でも分からないようなことを、外国の方に理解してもらうのは難しいです。

宮崎委員

転入の際に情報をもらえるのでしょうか？

事務局

はい。転入セットの中に必要な情報が入っています。

宮崎委員

特別児童扶養手当と児童育成手当とはなんですか？

事務局

特別は、障がいのあるお子さん向けのものです。育成手当では、東京都からの手当です。他になれば、資料について説明します（資料について説明）。

小林委員

日本語ボランティア教室は、子どもも大人も

通えるのでしょうか？保護者に情報提供することも可能ですか？また、校長会で話しても大丈夫でしょうか？

事務局

はい、問題ありません。

華委員長

足立区の人口は23区で一番ですか？

事務局

23区で4番ですね。

他に無ければ、最後に久米課長お願いします。

久米参事

今、特にコロナで地域は萎縮していると思います。

加藤委員

町会の加入率も減っています。パンフレットも多言語化しましたので、是非外国の方にも加入してもらいたいと思います。加入してもらうことで、台風など災害の際にも情報が行き渡ると思います。

久米参事

町会のモチベーションもかなり下がってしまっていると思います。でも徐々に経済も回復していくかと思いますので、是非来年のオリンピックに向けて諦めずにみんなでやっていたいと思います。

事務局

本日はありがとうございました。

※ 2021年度は書面開催のため議事要旨はありません。